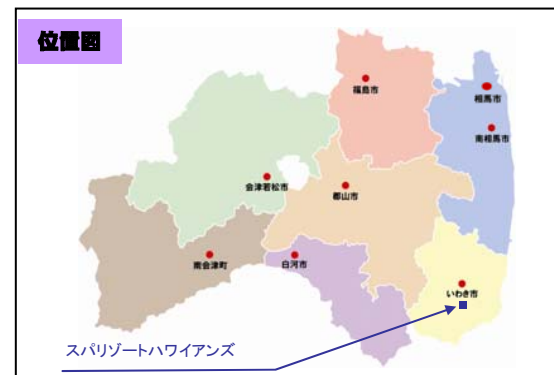
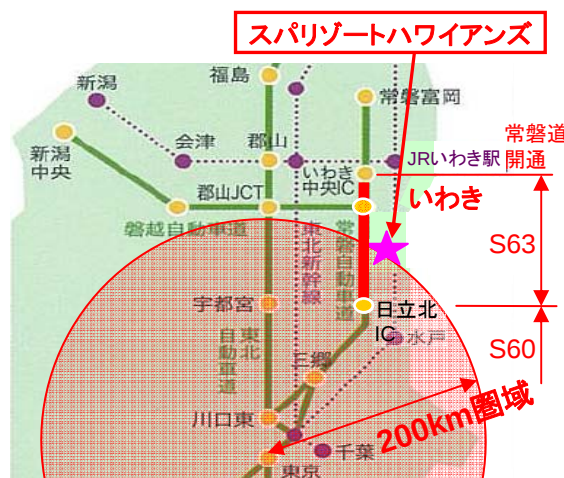
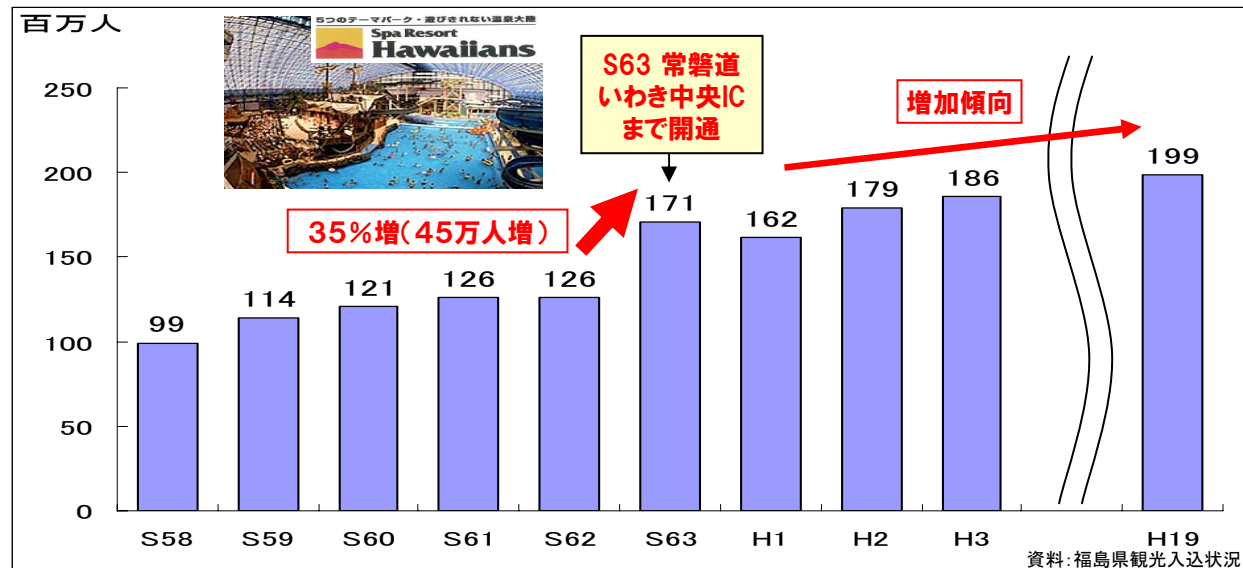


常磐道の整備により、観光施設の入込客数が増加

- ・S63の常磐道「いわき中央IC」までの
開通により、入込客数が約4割増加し、
伸び悩む入込客数の低迷に歯止め
- ・設備投資や開通道路の延伸等によ
り、入込客数は着実に増加

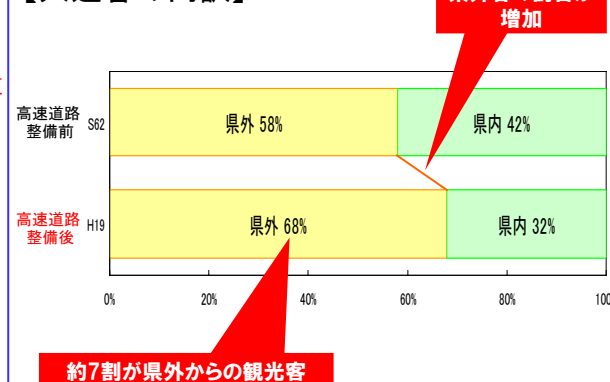


▼観光施設の観光入込客数の推移事例(スパリゾートハワイアンズ)



首都圏からの観光客が増加

【入込客の内訳】



資料:福島県観光入込状況

入込客数が低迷していた時期に、常磐道の開通で35%増加した。常磐道がなければハワイアンズは駄目だった。

常磐道の整備に併せて約60億円を投資してリニューアルした。年間20数億円も売り上げが増加し、地域への経済波及効果は年約70億円も増加。定住人口に置き換えると5500人に匹敵。

高速道路が無かったときは、いわきは陸の孤島と言われた。観光と道は密接不可分、交流人口が増加するには、道路は欠かせない。

(常磐興産(株) 斎藤社長)